

まずは3年生のみなさんに心より感謝します。

みなさんは入学当初から新型コロナの影響を直に受けた学年でしたね。新生活がスタートしたのに外出もままならない、クラスメートにも会えない、さらには高校生の時に遠隔授業を全く経験していないと、どの学年と比べても一番苦労したのではないのでしょうか。

遠隔授業は長く続き、3年生になってようやく対面授業が本格的に始まったことと思います。私は1・2年の講義しか担当していないので、みなさんには全て遠隔授業で対応しました。当時の私の講義では事前に動画を視聴してもらい、正規の授業時間ではオンラインで補足説明をしました。当時の動画を見直してみましたが、資料の組み立て方はイマイチですし、パワポのレーザーポインターはネズミが動き回るようにあちこち移動して見づらかったです。しかしゆっくり話はできていて、内容は何となくわかってもらえたと思います。早送りを見た人も多かったことでしょう。

さて、みなさんの講義では成績をどう評価しようか迷いました。対面での試験は無理でしたし、そうかと言ってオンライン試験ではネット回線が悪くなった時の対応策を思いつきませんでした。みなさんの理解度ややる気(?)を正しく評価できる課題は無いものかと思案し、最終的に以下のようなレポートを課しました。

-----  
本講義では試験を実施しないが、仮に講義室で試験があったとして、各自、次に示す試験問題とその模範解答を作成せよ。その際、以下の条件を満たすこと。

1. 受講者のほぼ全員が正解できる問題と模範解答
2. 受講者の1割程度のみが正解できる問題と模範解答

条件1：試験問題にオリジナリティがあること（他の受講者の問題とは異なること）。  
（その他の条件は省略）

-----  
提出されたレポートの中には、本当の試験で使わせてもらいたい程、素晴らしい問題がたくさんありました。一方で、教科書の演習問題の数字をちょっと変えただけのような問題もありました。結果的に順当な成績評価ができたと思っています。みなさんはだいぶ苦労したことでしょう。大学に入るまでこんな課題は見たこともなかったでしょうから。

ちなみにこの形式のレポートは、翌年以降も、さらには異なる学年でも課しました。課題が同じなので、学年・年度間でその出来を単純に比較することができます。その結果、みなさんの代ではないですが、みなさんの後輩のレポートの出来があまり芳しくないことがわかりました。ただしこれは、彼らのせいではなく、遠隔授業に慣れた私がオンラインでの補足説明などを通じて彼らの学習意欲を引き出せなかったことが原因かなと反省しています。彼らにはその後、もう一度講義をする機会がありました（しかも対面で）。彼らがどのように成長したかは、この原稿の締切時点で同じレポート課題にて調査中です。みなさんのように、誰の真似でもないオリジナルな問題を生み出せる能力を身につけてくれていることを祈るばかりです。